

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3 月 28 日

事業所名 障がい児通所支援施設ちゅらハウス2号館 保護者等数(児童数) 22 回収数 18 割合 82%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4	0	曜日によって利用者数が違うため	保護者に説明を行う
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	3	1	全体でスタッフが何名いるか把握していないため	改めて、スタッフの配置人数を報告した。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	16	1	玄関の段差のところで車椅子を押しにくそうだと感じているため、室内注視してみているので設備がわからない	段差のところを平坦にすることを検討する。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17	1	0		面談を行ったうえで、サビ管が作成をしている
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	1	0	* 未回答 1	固定化しないように、内容を変えるなど工夫をする。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	8	2		学童クラブや児童館との交流する機会を増やしていく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2	0		保護者が納得できるように説明の仕方を工夫する
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	9	3		次年度は実施を予定している
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	5	0		すぐ対応できるよう努めます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	0	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	16	2	0		
常時 等の 対	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4	1	避難訓練を実施しているのは聞いている。備えは必要かと思う。	ブログや、お便りを活用するとともに、説明を常時行うこととする
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1	1	避難訓練を実施しているのは聞いている。備えは必要かと思う。	月に1回の訓練を実施している
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7	3	0	* 未回答 3	活動内容の工夫をする
	18 事業所の支援に満足しているか	9	1	0	* 未回答 3	保護者のニーズに沿えるよう支援方法を工夫します

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月28日

事業所名 障がい児通所支援施設 ちゅらハウス2号館

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3		プレイルーム、ワークルーム、休憩室がある	利用者の状態により、活動部屋を分けて使用している
	2	職員の配置数は適切である	1	1	2		職員が休んだ時はヘルプを求めるとも度々ある。現在、ハローワークにて募集中。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	1		避難経路に高さがあるため、車椅子等のことも視野にいれ改善をしていく。現在、車椅子利用児も受け入れはしている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		3	1		有給などで参加できない職員に関しては、後日、再度全員で振り返りを行っている。おそらくしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				アンケートに記載されている、保護者からの声に対し真摯に受け止め一つ一つ改善をしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				事業所のホームページをとおして公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2			第三社委員会を設置している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1			施設内外の研修を実施している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2			利用児の声、また状態を確認したうえでアセスメントを行い、サビ管が保護者と面談のうえ計画を作成している。保護者のニーズが優先となることもある
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	1		使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			法人として基本プログラムがあり、それに沿って行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1			利用児に合わせ行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2			グループ分けを行い、それぞれにあった目標設定を行い支援をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				サビ管が行っている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1			学校迎え前に、ミーティングをしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2			職員の退勤時間の関係により、翌日のミーティングで行うことがある
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				サービス提供時間終了後、記録している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				サビ管が行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	1			基本活動を中心に、その日の利用者状況により、活動の組み合わせを行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				サビ管が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4				インターネット・アプリを利用している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	2		医療児ケアの受け入れをしていない。保護者を介し行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2		2		保護者より情報をもらっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3				相談支援員、保護者、就労先、事業所間で会議をもち、情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	1		児童発達支援センターなどが、石垣市にないが、研修等には参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1			ちゅらハウス1号館や、とのすく児童館と交流を行っている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	1		2か月に1回サビ管が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				電話やメール、送迎時、SNSやブログなどを活用し保護者と情報交換を行い、互いに理解をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	1		現在は不定期に保護者支援は行っている。今後は定期的に行う予定である
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				相談があった場合は、アドバイスを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2		2		なかなか行えておらず、次年度は行う予定である
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				苦情があった時は、全支援員で話し合い、保護者へ伝えるなど、時間をあけず対応をしている
	34	定期的に広報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				毎月1回、おたよりを発行している
	35	個人情報に十分注意している	4				個人情報に繋がる物に関しては、持ち出し禁止はもちろんの事、書類等は直ぐ管理者の目の前でシュレッターにかけるようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				本人に伝わりやすい方法で行っている。ご本人様に聞かれたくない内容などは、ご本人様がいけない時に電話やlineなどで行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2			アート展等を実施している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1			マニュアルを策定し、支援員、保護者へ周知しているが、保護者への周知が浸透していないため、工夫が必要である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				毎月訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				毎年行い、全職員が参加している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1			計画書に記載し、障害特性を含め、保護者と話をしながら、保護者に了解を得ている。身体拘束はしていない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1			食物アレルギーがある利用児は医師の診断書の提出をいただいている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1			ミーティングを活用し、情報共有を行っている

\* 全スタッフと評価を行い集計した結果となります。